

令和6年度 壱岐市立芦辺中学校 学力向上プラン

壱岐市立芦辺中学校

学校教育目標 **自ら学び、心豊かで、たくましい生徒の育成**

豊かな人間性と確かな学力を身に付けた子どもを育てる学校教育の実現

全職員が自校の課題を理解し、日々の授業改善につなぐ職員室

『第五版』を基に体験的な学習活動を取り入れた問題解決的な学習過程の確立

全国学力調査・長崎県学力調査の結果の分析の実施及び、本校学力向上プランの見直し

令和5年度全国学力調査・長崎県学力調査の結果から

【国語科】

3年生は全国平均を上回っており、無解答率は低かった。日頃から無解答を無くすように指導しており、授業中も諦めさせず最後まで書かせることが要因として挙げられる。また、ペア学習を取り入れて、学び合える環境を作り、教師がカバーしきれない所を生徒同士で助け合っている。問題に慣れさせるため、ほぼ毎時間ワークの課題を出している。こういった日頃の取組が成果につながった。

【数学科】

3年生は全国平均、県平均を大きく下回り、問題文の意味やデータ、図、表を読み取れておらず、解決のために何をどうすればよいかかわかっていなかった。また、数学的な用語の意味の正しい理解もできていない。特に関数の領域に課題が見られた。2年生は県平均を上回ったが、1年次の習熟度別指導や、毎時間の課題や週末課題が成果につながった。

【英語科】

3年生は県平均と同じだった。普段の授業で学力調査に似たような問題に取り組ませていることが成果につながった。しかし、全国平均より下回っており、特に「聞くこと」の領域に課題が見られた。

研究主題 **「主体的に学び、自分の考えや思いを表現する生徒の育成」**
～「ねりあげる」過程における充実した学習指導を通して～

「主体的に学ぶ生徒」とは

疑問を感じたり、見通しをもって学びに向かったり、うまくいなくても粘り強く取り組んだり、学びの意味を自覚したりする生徒

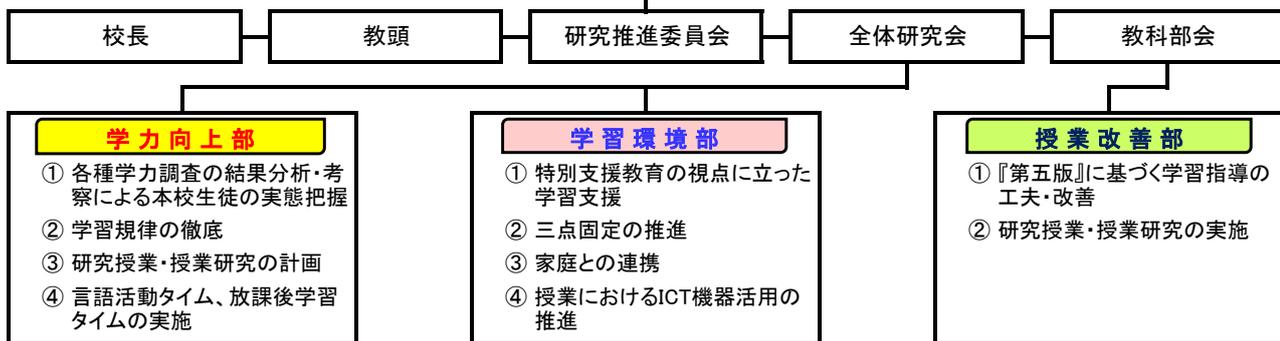
「自分の考えや思いを表現する生徒」とは

自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら表現し、よりよい解決結果にたどり着くことができる生徒

学力向上に向けた基本方針

「ねりあげる過程」を充実させるために、生徒が自分なりの考えを持って協議できるよう、効果的な「書く活動」を仕組んだり、話し合いの視点を意識させたりする。また、「ふりかえる過程」を充実させるために、目標に沿った適切な学習活動を仕組み、教師の言葉を精選するなどして、十分な時間を確保する。

●校内組織と取組



「できた」「分かった」の笑顔があふれる授業

「夢・憧れ・志」を共に育む家庭・地域との連携

子供が成長する喜びを分かち合う職員室

壱岐市の目標である「豊かな人間性と確かな学力を身に付けた子ども」の育成につなげる